

2018年度 パフォーマンス向上会議不適合報告情報(2018年11月26日(月)分)

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年11月26日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 4 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	1号機	不活性ガス系液体窒素貯槽圧力指示計において、指示値不良(排出時に指示値が変動しない)が認められたため、当該圧力指示計を点検・修理。	GⅢ	
2	1号機	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力指示計において、指示値不良(現場指示値0.36MPaに対し中操指示値0MPaと低めに指示)が認められたが、当該系統は現在長期保管中であることから処置不要。	対象外	
3	3号機	非常用ディーゼル発電設備(A)ディーゼル燃料油系機関廻りにおいて、油しみ(日常管理範囲内の微少なしみ17箇所)が認められたため、当該箇所を点検・修理。	対象外	
4	その他	個人線量計(警報付ポケット線量計1台)において、校正基準値を逸脱していることが認められたため、マニュアルに基づき、当該線量計を至近の点検校正以降に使用した者の被ばく線量値について再評価。	GⅢ	